

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2	履修年次	1年	2年	3年
						履修形態			必修

教科書	現代高等保健体育	副教材等	現代高等保健体育ノート
-----	----------	------	-------------

1 学習の目標

(1)	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
(2)	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
(3)	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、一人一人の違いを大切にしようとする等の意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

2 身に付けてほしい力

○	学びの価値を重んじる思考力	○	あきらめずに最後までやり通す忍耐力
○	規律やルールを守り、目標を追求する行動力	○	多様な価値を認め、他者と助け合う友愛力

3 学習評価(評価規準と評価方法)

評価の観点	知識および技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	○知識 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・各種目において求められる演技、動作、攻防、役割に応じた操作などを行うことができる(体育理論、体づくり運動を除く)。	技、動き、攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	各種目に自主的に取り組むとともに、それぞれ求められる態度(勝敗を冷静に受け止める、ルール・マナーを大切にする、演技を讃える、互いに助け合い教えようとする等)や、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするをしたり、健康・安全を確保したりしている。
評価の方法	○学習活動の状況観察 ○課題の内容や提出状況 ○ワークシート等への取り組み ○スキルテスト	○学習活動の状況観察 ○課題の内容や提出状況 ○ワークシート等への取り組み	○授業に取り組む姿勢 ○学習活動の状況観察 ○課題の内容や提出状況 ○ワークシート等への取り組み

4 先生からのアドバイス(予習・復習の方法、授業の受け方など)

1	「保健体育科授業の約束」をしっかりと守り授業に臨んでください。
2	授業においては、学校指定ジャージ、Tシャツを着用してください。
3	見学する場合は、事前に教科担任に連絡し見学届を提出してもらいます。
4	準備運動をしっかりと行い、怪我や事故の防止に努めてください。
5	運動が得意な人は、苦手な人への支援を積極的に行い全体的なレベルアップに努めてください。
6	運動が苦手な人は、少しでも運動の技能を高められるよう一生懸命努力してください。
7	仲間と協力し合い、準備や後片付け、各種練習や試合に臨んでください。
8	事情により運動ができない場合は事前に申し出てください。何らかの形で授業へ参加できるよう配慮します。

年間授業計画

	月	単元	学習内容・目標(到達点)	評価資料・方法	評価の観点		
					①	②	③
前期	4	●オリエンテーション ●体づくり運動 ●新体力テスト	○授業における約束事、ルールの確認。 ○体ほぐしや体力を高める運動を通して自分の体について理解を深める。	・学習観察 ・ワークシート ・スキルテスト ・授業に取り組む姿勢	○	○	○
	5	●種目選択①《前期》 サッカー テニス ソフトボール バドミントン	○自己の興味・関心や適正に応じて種目を選択し、自ら進んで運動に取り組む姿勢や態度を身につけます。 ○バレーボールは、これまでに身につけた技能を生かして守りからの攻撃を楽しみ、相手に応じたゲームに発展させるよう取り組みます。 ○テニス・バドミントンは、基礎的な技術を習得しラリーや簡易ゲームを楽しめるように工夫しながら、仲間と協力して取り組みます。 ○サッカーは、これまでに身につけた技能を生かして、スペースを使った発展的なゲームを楽しめるように仲間と協力して取り組みます。 ○ソフトボールは、安全に留意しながら攻守走投の基本技術を習得し、試合の中で仲間との連携プレイを楽しめるように取り組みます。				
	6						
	7						
	8	●種目選択①《後期》 サッカー テニス ソフトボール バドミントン	○自己の興味・関心や適正に応じて種目を選択し、自ら進んで運動に取り組む姿勢や態度を身につけます。				
	9	●陸上競技 ・長距離走	○一定のペースを守りながら長く走れるようにする。				
	10	●種目選択①《後期》					
	11	●種目選択② バスケットボール	○ルールと審判法を理解し、チームとして組織的な攻撃・防御ができるように、練習を工夫しゲームを運営します。				
	12	卓球					
後期	1 通年	●球技 (卓球・選択授業雨天時)	○格技場で、卓球の基礎的な練習や簡易ゲームを行います。				
		●体育理論	○スポーツの意義や必要性を認識し、運動についての科学的理解を深める。				

* 評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に取り組む態度

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2	履修年次	1年	2年	3年
						履修形態			必修

教科書	現代高等保健体育	副教材等	現代高等保健体育ノート
-----	----------	------	-------------

1 学習の目標

(1)	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
(2)	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
(3)	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、一人一人の違いを大切にしようとする等の意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

2 身に付けてほしい力

○ 学びの価値を重んじる思考力	○ あきらめずに最後までやり通す忍耐力
○ 規律やルールを守り、目標を追求する行動力	○ 多様な価値を認め、他者と助け合う友愛力

3 学習評価(評価規準と評価方法)

評価の観点	知識および技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	○知識 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・各種目において求められる演技、動作、攻防、役割に応じた操作などを行うことができる(体育理論、体づくり運動を除く)。	技、動き、攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	各種目に自主的に取り組むとともに、それぞれ求められる態度(勝敗を冷静に受け止める、ルール・マナーを大切にする、演技を讃える、互いに助け合い教えようとする等)や、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするをしたり、健康・安全を確保したりしている。
評価の方法	○学習活動の状況観察 ○課題の内容や提出状況 ○ワークシート等への取り組み ○スキルテスト	○学習活動の状況観察 ○課題の内容や提出状況 ○ワークシート等への取り組み	○授業に取り組む姿勢 ○学習活動の状況観察 ○課題の内容や提出状況 ○ワークシート等への取り組み

4 先生からのアドバイス(予習・復習の方法、授業の受け方など)

1	「保健体育科授業の約束」をしっかりと守り授業に臨んでください。
2	授業においては、学校指定ジャージ、Tシャツを着用してください。
3	見学する場合は、事前に教科担任に連絡し見学届を提出してもらいます。
4	準備運動をしっかりと行い、怪我や事故の防止に努めてください。
5	運動が得意な人は、苦手な人への支援を積極的に行い全体的なレベルアップに努めてください。
6	運動が苦手な人は、少しでも運動の技能を高められるよう一生懸命努力してください。
7	仲間と協力し合い、準備や後片付け、各種練習や試合に臨んでください。
8	事情により運動ができない場合は事前に申し出てください。何らかの形で授業へ参加できるよう配慮します。

年間授業計画

	月	単元	学習内容・目標(到達点)	評価資料・方法	評価の観点		
					①	②	③
前期	4	●オリエンテーション ●体づくり運動 ●新体力テスト	○授業における約束事、ルールの確認。 ○体ほぐしや体力を高める運動を通して自分の体について理解を深める。	・学習観察 ・ワークシート ・スキルテスト ・授業に取り組む姿勢	○	○	○
	5	●種目選択①《前期》 サッカー テニス ソフトボール バドミントン	○自己の興味・関心や適正に応じて種目を選択し、自ら進んで運動に取り組む姿勢や態度を身につけます。 ○バレーボールは、これまでに身につけた技能を生かして守りからの攻撃を楽しむ、相手に応じたゲームに発展させるよう取り組みます。 ○テニス・バドミントンは、基礎的な技術を習得しラリーや簡易ゲームを楽しめるように工夫しながら、仲間と協力して取り組みます。 ○サッカーは、これまでに身につけた技能を生かして、スペースを使った発展的なゲームを楽しめるように仲間と協力して取り組みます。 ○ソフトボールは、安全に留意しながら攻守走投の基本技術を習得し、試合の中で仲間との連携プレイを楽しめるように取り組みます。				
	6						
	7						
	8	●種目選択①《後期》 サッカー テニス ソフトボール バドミントン	○自己の興味・関心や適正に応じて種目を選択し、自ら進んで運動に取り組む姿勢や態度を身につけます。				
	9	●陸上競技 ・長距離走	○一定のペースを守りながら長く走れるようにする。				
	10	●種目選択①《後期》					
	11	●種目選択② バスケットボール	○ルールと審判法を理解し、チームとして組織的な攻撃・防御ができるように、練習を工夫しゲームを運営します。				
	12	卓球					
後期	1 通年	●球技 (卓球・選択授業雨天時)	○格技場で、卓球の基礎的な練習や簡易ゲームを行います。				
		●体育理論	○スポーツの意義や必要性を認識し、運動についての科学的理解を深める。				

* 評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に取り組む態度